

アンケートの結果を見ると、賛成の人を含め、多くの町民は住民投票を望んでいました

この間、東北電力の全戸訪問、地区ごとの説明会、資源エネルギー庁の基調講演会、県や市・町主催の3回の対話フォーラム、地元説明会などが開催され、住民理解へと説明を行ったとしていますが、アンケートの結果は……。

設問1・・・計画について「よく知っている」は24%で、「すこし知っている」49%、「よくわからない」と25%と、周知徹底したとは言えない状況です。

設問2・・・計画の説明については、十分説明している20%
説明が不十分47%、聞いていないが30%
説明が不十分と聞いていないの合計が77%に上ります。

設問3・・・国の原子力安全・保安院をはじめ県の検討会議も「ウラン燃料のみを利用する場合と同様安全性は確保される」との結論を出しましたが、不安だと思う62%で、安全だと思うのはわずか13%にすぎませんでした。

設問4・・・検討会議では必要性については議論されなかったようですが、プルサーマルは必要だと答えた人はわずか24%にすぎず、必要はない41%、わからない33%と、住民は回答しています。

設問5・・・住民投票の是非について伺ったところ
必要だと思う57.45%、必要ないと思う20.27%
わからない20.16%、無記入2.13%でした。
プルサーマル賛成の人も、多くの町民は住民投票を望んでいました。

設問6・・・女川原発3号機にプルサーマルを導入することについて尋ねました。
賛成・・・18.48%、反対・・・57.56%、わからない・・・11.53%
両方に・・・12%、この結果を見ても、「概ね理解が得られた」という判断はどこからも出てこないはずです。

賛成の理由で多かったのは

温暖化対策として有効30%、地域活性化に貢献26%、国策だから26%の順でした。

反対の理由で多かったのは

女川原発はトラブル続き23%、巨大地震が起きたら被害が深刻20%、使用済みMOX燃料の行き場がない16%などとなっています。

町長らの事前協議の同意は、住民を無視した、あまりに「拙速」な行為です